

九響

The Kyushu Symphony Orchestra

サクソフォーン界のスター須川展也が
ソリストで3曲を、さらにオーケストラに参加!
吹奏楽では不動の名曲
アルメニアン・ダンス・パート1の
オーケストラ編曲版も披露します
現田茂夫と九響が奏でる魅惑のボレロにも
ご期待ください!



指揮
現田茂夫

©K.Miura



サクソフォーン
須川展也

九州交響楽団

岡山公演

2022 **6/17** **金** 19:00 (開場 18:00)

岡山シンフォニーホール大ホール
(岡山県岡山市北区表町1-5-1)

J.ドーシー/ウッドルズ・オブ・ヌードルズ★
真島俊夫/シーガル★
石川亮太/日本民謡による狂詩曲★
A.リード(中原達彦編)/アルメニアン・ダンス・パート1・
ビゼー/「アルルの女」第2組曲・
ラヴェル/ボレロ・

(★=須川ソロ ●=須川がオーケストラパートを演奏)



◆ チケット(税込)

S 席=4,000円 A 席=3,000円
B 席=2,000円 学生料金=1,500円
(全席対象)

車椅子席(限定10席)=2,000円
※九響チケットサービスのみ取り扱いとなります

◆ チケット発売 4/21(木)

◆ プレイガイド

岡山シンフォニーホール
チケットセンター

TEL.086-234-2010(受付時間
10:00~18:30)
FAX.086-234-2003(岡山シンフォニーホール「友の会」提携)

岡山音協 TEL.086-224-6066
(受付時間/平日9:00~17:00)

九響オンラインチケット

インターネットで24時間受付 **九響** **検索**

九響チケットサービス TEL.092-823-0101
ご自宅まで送料無料でチケットを郵送致します(受付時間/平日9:30~17:30)

チケットぴあ
Pコード 215-360
https://t.pia.jp

取扱いは
Webのみ

ローソンチケット
Lコード 61375
https://l-tike.com

取扱いは
Webのみ

主催:(公財)九州交響楽団・山陽新聞社
後援:岡山県 岡山市 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 (公財)岡山文化芸術創造 岡山県吹奏楽連盟
岡山県中学校吹奏楽連盟 岡山県高等学校吹奏楽連盟 岡山県音楽文化協会 九響後援会

新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとって開催いたします。ご来場の皆さまのご協力をお願いいたします。

公益財団法人
九州交響楽団
http://kyukyo.or.jp/



九州交響楽団 岡山公演



バラエティに富んだ活動で オーケストラからの信頼も厚いマエストロ

指揮 現田茂夫

Shigeo Genda, Conductor

東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。

96年より13年間神奈川県フィルハーモニー管弦楽団を指導し飛躍的に躍進させ、その功績も称えられ2009年より名誉指揮者の称号を得る。他の主要オーケストラとも数多く共演し高評を得ている。また、世界的チェリスト故ロストロポーヴィチと上皇后陛下の古希祝賀コンサート等で共演し高評を得ている。

オペラ指揮者としても経験豊かで、東京二期会、関西二期会での指揮も数多くの公演を行なっている。02年からは錦織健プロデュースオペラの音楽監督も務め2年ごとに全国公演。11年はアンサンブル金沢と金沢歌劇座・兵庫県立芸術文化センター他(5都市6公演)で「椿姫」を公演。14年には市川右近(現三代目市川右團次)新演出「夕鶴」の全国公演も行い高評を得、16年に再演を行った。

また、ベドロッチ国際指揮者コンクール(イタリア)の審査員や、NHK-FMラジオのパーソナリティを3年間務めるなどバラエティに富んだ活動を行なっている。



©K.Miura

日本が世界に誇るサクソフォーン奏者

サクソフォーン 須川展也

Nobuya Sugawa, Saxophone

日本が世界に誇るクラシカル・サクソフォーン奏者。長きにわたり、チック・コリア、ファジル・サイ、坂本龍一、西村朗、本多俊之、吉松隆、長生淳など名だたる作曲家への委嘱を継続。それらの中には既にレパートリーとして国際的に広まっている楽曲が多くあり、クラシカル・サクソフォーンの領域への貢献は計り知れない。

作曲家からの献呈作品も枚挙にいとまがない。N響、都響など国内オーケストラのみならず、BBCフィル、フィルハーモニア管など世界各国の著名オーケストラと共演。ウィーンのリックフェラインをはじめ、海外30ヶ国以上で公演やマスタークラスを行う。

東京藝術大学卒業。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクール最高位受賞。02年NHK連続テレビ小説「さくら」テーマ曲を演奏。最新CDは自身初の無伴奏作品となる「パヴァー・シーケンス」(令和2年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞)。89-10年まで東京俊成ウィンドオーケストラ・コンサートマスター、07-20年までヤマハ吹奏楽団常任指揮者を務める。トルヴェール・クワルテットのメンバー、東京藝大招聘教授、京都市立芸大客員教授。



管弦楽:九州交響楽団 The Kyushu Symphony Orchestra

2023年に創立70周年!九州の音楽界をリードしてきたプロオーケストラ



1953年創立。1973年に改組、のち財団法人化を経て2013年から「公益財団法人九州交響楽団」となり、九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市「福岡」に本拠地を置く。アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任後「ベルリオーズ/幻想交響曲」、「ベートーヴェン/交響曲第9番」、「マーラー/交響曲第8番《千人の交響曲》」、「マーラー/交響曲第3番」のCDを発売。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。東京2020オリンピック競技大会閉会式のアトラクション用楽曲に、九州交響楽団演奏の『武満徹/「波の盆」』が使用された。

安定したサウンドを基盤に、息の合ったアンサンブルが作り出す流れと躍動感がある。緊張と弛緩の波の作り方も絶妙で、聴き手が思わず反応する間合い、あるいは隙が音の流れの中に入れ込まれており、感覚器官を通して自然と音楽の流れに包含される感覚を味わえた。充実した響きを聞かせる弦楽器も切れ味鋭い打楽器も皆健闘していたが、なかでも特に鮮やかな印象を刻んだのが木管楽器群である。(後略)

(「音楽の友」2022年2月号掲載 九州交響楽団第400回定期コンサート評より)

九州交響楽団の活動については、公式ホームページ、SNSをご覧ください



九響 <http://kyukyoku.or.jp>



今回の演奏会のコンサートマスターは扇谷泰朋の予定です

感染予防対策にご協力ください。

発熱もしくは咳等の症状があり、体調が優れずご来場いただけないお客様につきましては、チケット代金の全額を払い戻しをいたします。



入場時には体温チェックをさせていただきます。



入場時の手指消毒、マスク着用は必ずお願いいたします。



会場内では社会的距離を確保し、会話は控えめをお願いいたします。



今後も安心できる演奏会を楽しむために、九州交響楽団では「新型コロナウイルス接触確認アプリ」COCOAのインストールを推奨しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



Google Play



App Store